

議会報告会報告書

開催日時	平成30年11月14日（水）午後7時00分～8時50分	
開催場所	鎌田中学校 図書室（1階）	
出席議員	堀端 脩、殿村峰代、田中正浩、米倉芳周、中村良子、 山本芳敬、山本 節	
	司会進行者	山本芳敬
	報告者	米倉芳周、殿村峰代、山本 節、中村良子
	記録者	米倉芳周
参加人数	11名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 中島 清晴 様

平成30年11月19日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第1班

代表者 堀端 脩

【第一部の主な質疑応答・意見等】

なし

第2部用【地域の中の学校づくりについて】

【主な質疑応答・意見等】

問 この第四地区においての阪内川流域の浚渫がされていない。どのように考えているのか。浚せつされた土砂を盛り上げる場所がないのが一つの要因であると思うが、提案として、行政が海岸地域で避難場所の高台設置をする計画があるなら、その地域に土地を購入して浚渫（しゅんせつ）された土砂を積み上げれば、一石二鳥になるのではないか。

答 阪内川流域において、大河内地内は浚渫工事がされている。一方で松尾地区においては手が付けられていない。桜町から井村町は現在工事中である。そして、殿町から港地区は、立木は取り除かれた経緯はあるが、かなりの土砂が溜まっている状態である。工事関連は県の管轄であり、市としても県へ働き掛けているが、地域からも県へ要請していただきたい。積み上げる土地については、これも地域の協力が必要である。

問 住民協議会について、役員は全てボランティアである。人件費は無論、交通費、昼食代等も出せないことになっている。この点をどう考えるのか。

答 住民協議会の役員の方々にはご苦勞を掛けていることは理解している。そこで、現在、各地域における自治連合会と住民協議会の組織の一本化、予算の一元化に向けて、議論が交わされている。その議論の中で、ご質問頂いた事項も含まれていると認識している。この議論は2年以上交わされ、3年目に入っている。もうすぐ結論が出される予定である。ご理解いただきたい。

問 この第4地区には公園がない。この人口が最も多い地区に子供が遊ぶ場所がどこにもない。この事実を議員の方々はどう考えるのか。スケートパークなどの誰が利用するかわからないものを何億円もかけて設置する計画らしいが、予算の使い方をもっと考えるべきではないか。

答 この地域の公園の設置に関しては、地域の要望として、予てから聞いているが、土地取得に関しては、地価が非常に高いことが要因となっている。今後の問題として議会として受け止める。

問 五十鈴町に住んでいる。同じく公園の課題である。各地区に150平方メートルの小公

園がそれぞれ設置されているが、その除草作業が地域では高齢化により非常に負担となっている。公園は市の所有であるので、除草を行政でやっていただくことはできないか。

答 建設部の公園課と一度協議する。

問 鎌田幼稚園で給食が始まったが、給食室がなく、配膳室もない。現在、廊下が配膳室代わりになっている状況である。衛生的にも問題があると思う。是非、改築等の善処を願う。

答 教育委員会へ現状を報告し、善処を検討する。

意見 モデル校区とされる鎌田中学校区コミュニティスクールにおいても、父兄からコミュニティスクールとして何をやっているのという質問も未だにある。もっともっと地域にアピールする必要性を感じる。もっと、CS（コミュニティスクール）と公民館と連携した地域交流を図りたいと考えている。

港小学校区、第四小学校区とのコンビにて地域の強み、ひいては弱みも把握し、それぞれの地域の特性を活かした地域交流を行っている。例えば、海があり、田畑がある港小学校区では、JA や漁業組合の協力にて地域支援を戴いたり、地域にある銭湯を利用した銭湯体験なども行っている。

また、第四小学校区では、住民協議会に教育部会を設置し、ボランティアの方々が熱心に活動している。過去に国連発表会に参加させていただいたこともある。

これら CS がしっかり維持する要因は、住民協議会とのコラボにあると考える。学校の不登校が減ったというデータもあり、市も一緒になって力を入れていただきたい。子育てというより地域育て、次世代への地域の人材を育てる意味においても CS は重要と考える。

以上